

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)沼津市東椎路物販店舗 新築	階数	地上1F
建設地	静岡県沼津市東椎路字川向23-1,24	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	7地域	年間使用時間	5,300時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年7月5日
敷地面積	5,029 m <sup>2</sup>	作成者	ヨシオー級建築士事務所 松島
建築面積	2,205 m <sup>2</sup>	確認日	2023年7月10日
延床面積	2,072 m <sup>2</sup>	確認者	ヨシオー級建築士事務所 橋本



※イメージ図

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 (スコア=2.9)

Q2 サービス性能 (スコア=3.0)

Q3 室外環境(敷地内) (スコア=2.1)

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア=3.9)

LR2 資源・マテリアル (スコア=3.1)

LR3 敷地外環境 (スコア=2.8)

Q のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。	<b>その他</b>	
<b>Q1 室内環境</b> 適切な室温設定にて室温制御をおこない、内部に使用建材および接着剤についてもF☆☆☆☆のものを使用することで施設内環境の向上に努めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 外壁: 20年、内装10年、配線・設備等: 10年の耐用年数を目標としている。バリアフリー法の移動円滑化基準を遵守し、天井高さにゆとりをもたせた計画としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 立地特性と敷地・建物および駐車場スペースのバランスに配慮した計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 建築物エネルギー消費性能の判断基準内で熱負荷を抑制した計画としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水タイプの大便器・洗面器(節水コマ)を使用し、内装についてはシックハウス対策法に基づき、使用材料・接着剤などはF☆☆☆☆のものを使用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 騒音対策については大規模小売店舗立地法に基づいた計画をし、外部照明については建築物の外壁面および広告面を照らすような計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される